

平成29年度大学職員情報化研究講習会 基礎講習コース
研修報告 F班1グループ グループ名：ウナギネコ

テーマ：VAMOS！～最高のスタートを～

●大学の役割

人材（財）の育成、輩出…「財」とも表現しているのは、組織を組成する材料という意味だけでなく、財産になるような人間を輩出するという理想を込めた。

※一言で“人材”といっても、多角的に見ると様々

- ・ “社会で通用する” 人材
- ・ “つづく” 人材
- ・ “多様化に対応できる” 人材
- ・ “人間力のある” 人材

●テーマ選定理由

大学の役割を「人材（財）の育成、輩出」と捉えたが、即戦力（完成された状態）で社会に出ることができる学生はほとんどおらず、社会人になってからの学びや経験から成長していくものが多い。そこで、学生生活でのゴールとは「卒業後のスタート」と考えた。

→社会に出てからの成長につながるものは学生生活で身につけた人間性である。マインドの部分形成し、学生自身がより良い気持ちでスタートを切るということに対しての支援を検討することとなった。

●現状（問題点の発掘）

- ・ 学生の自力に依存している
- ・ 学校として進路支援の体制が弱い
- ・ 大学の目標が学生に伝わっていない
- ・ 学生自身の目的意識に欠けている
- ・ 学部の専門的な教育がほとんど

→進路支援の充実には、「体制の強化」と「学生の意識改革」が不可欠である。

●解決策の検討

【体制の強化】

①学生への情報提供の充実化

学生が進路を決める際に重要なものは情報。そのソースを大学側がしっかりと準備すること、そして、それを学生が入手しやすい環境の整備が求められる。

②教育内容の改善

進路選択に役立つ内容を、教育として意識して実施する。キャリア教育を講義として実施することや少人数講義でのコミュニケーション・プレゼンテーション能力の向上を目的としたものも含む。

【学生の意識改革】

- ①教育現場でのアプローチ
- ②学生と関わる機会でのアプローチ

学生の意識改革には、直接的なアプローチが効果的である。

●具体案

学生への情報提供の充実化を実現するために…進路支援ツール「きやりふお〜む」

【概要】

進路決定に際して必要となる情報を入手したり、先生やOB・OGに相談したりできる総合的ポータルツール（名称はCareerにInformation, form, reformをかけている）

PCはもちろん、スマートフォンからもアクセスできる

【機能】

・個人でのアカウントが設定されており、学部学科ごと、所属団体等を参照し、就職先や進学先といった前例情報を検索できる

⇒将来的にはAIを搭載し、その人に合った進路を提案する

・Eポートフォリオ機能が搭載されていて、公開レベルを学生自身が設定することができる

・学生は自分の就職活動体験等を情報として入力でき、また、それらを検索し、活用することができる

【懸念・課題】

- ・情報のセキュリティ
- ・情報の正確性
- ・システム管理
- ・教員の協力が必要

【見込める効果】

- ・学生たちにとって有益な情報を提供できる（いつでもどこでも）
- ・「自分で調べる」を習慣化
- ・進路決定が楽しく有意義になる
- ・学生自身の振り返りにもなる（入力者）
- ・OB/OG、企業や組織とのつながりを深められる

以 上